



## FOREX WEEKLY REPORT

2018年12月10日

(株)新生銀行 市場営業部  
SFXM-1812107926

## I. 先週の動き

通貨			東京市場			海外市場			終日	
			始値	安値	高値	安値	高値	終値	安値	高値
ドル円 高値 113.82 安値 112.23	12/3	月	113.67	113.45	113.82	113.38	113.71	113.65	113.38	113.82
	12/4	火	113.66	113.05	113.66	112.58	113.14	112.78	112.58	113.66
	12/5	水	112.77	112.65	113.12	112.93	113.24	113.19	112.65	113.24
	12/6	木	113.19	112.58	113.21	112.23	113.12	112.66	112.23	113.21
	12/7	金	112.68	112.65	112.93	112.56	112.91	112.74	112.56	112.93
ユーロ円 高値 129.15 安値 127.64	12/3	月	128.88	128.78	129.15	128.55	129.06	128.99	128.55	129.15
	12/4	火	129.03	128.62	129.05	127.64	128.81	127.92	127.64	129.05
	12/5	水	127.92	127.79	128.18	128.03	128.46	128.41	127.79	128.46
	12/6	木	128.40	127.71	128.43	127.67	128.30	128.21	127.67	128.43
	12/7	金	128.17	128.14	128.41	128.19	128.66	128.52	128.14	128.66
ユーロドル 高値 1.1424 安値 1.1312	12/3	月	1.1352	1.1329	1.1379	1.1319	1.1374	1.1353	1.1319	1.1379
	12/4	火	1.1354	1.1350	1.1393	1.1319	1.1419	1.1342	1.1319	1.1419
	12/5	水	1.1343	1.1317	1.1346	1.1312	1.1361	1.1345	1.1312	1.1361
	12/6	木	1.1344	1.1322	1.1352	1.1322	1.1412	1.1379	1.1322	1.1412
	12/7	金	1.1374	1.1365	1.1382	1.1361	1.1424	1.1380	1.1361	1.1424

## ◆先週の動き

【12/3】週明けのドル円は先週末の米中首脳会談の結果を好感し、早朝シドニー市場ではドル売り・円売りのリスクオン相場となりクロス円を中心に大きくギャップアップとなり、ドル円は113.87の高値の上窓を空けてオープン。東京時間午前には日経平均株価を筆頭にアジア株も一般的に堅調推移となるも、東京時間午後には掛けて利益確定の売りに押され上値の重い状況が続いた。為替市場でもクロス円を中心とした利益確定売りの円買い地合いとなり、ドル円は弱含み欧州時間にかけて113.38の安値まで下落した。NY時間は、米11月マークイット米国製造業PMI確報値(実績55.3/市場予想55.4)、米11月ISM製造業景況指数(実績59.3/市場予想57.5)の強弱まちまちの結果に、ドル円は113.55付近で揉み合い。その後、クドロー米NEC委員長が、知財権侵害と技術移転強要に関し対中合意が「かなり近い」と述べたことで113.71まで上昇し、113.65で引けた。ユーロドルは上窓を空けてオープンし、早朝の薄商いの中1.1369まで上昇した後、1.1329まで下落。東京時間は一般的にドル売りとなったことや、「コンテ伊首相は財政赤字目標を対GDP比で1.9%-2.0%に設定する用意」との報道を受け、1.1379の高値まで上昇した。欧州時間は独マークイット製造業PMI確報値(実績51.8/市場予想51.6)、欧マークイット製造業PMI確報値(実績51.8/市場予想51.5)が予想対比強い結果となったが、英ポンドの下落に連れ安となりユーロドルは1.1319の安値まで下落。NY時間は、米株式市場が寄り付きから堅調な推移となった事を背景にクロス円が一般的に上昇。ユーロドルはユーロ円の上昇に連れて1.1360超えまで上伸し、1.1350-55で引けた。

【12/4】ドル円は前日NYクローズ直後につけた113.66がこの日の高値。前日NY市場に於いて米2-5年債利回り較差で逆イールドが示現し、米国の景気後退が一部市場参加者に警戒された為か、東京時間中に日経平均株価が大幅に下落(前日比▲2.39%)。更に米10年債利回り低下を背景にドルも売りに傾斜しドル円は113.10割れまで下落した。欧州入り後、EU司法裁判所の法務官が英国によるリスボン条約50条撤回に柔軟な見解を示した事が伝わると、対英ポンド主導でドル売りが強まり112.80割れまで続落。NY時間にはウィリアムズNY連銀総裁の「さらなる漸進的な利上げは適切」とのタカ派発言を背景に一時113円台まで戻す場面があるも、トランプ大統領がツイッターにて「経済政策を巡る中国との交渉は、90日で終了すると断言。交渉決裂となれば、中国製品に対する輸入関税を喜んで維持する」との考えを表明したことを契機にNYダウ平均株価が大幅に下落(前日比▲3.10%)し、また米2-5年債利回り較差のマイナス幅が拡大すると、クロス円を中心に円買いに傾斜し112.58(安値)を示現。112.75-80レベルまでやや戻して引けた。ユーロドルは1.13台半ばからスタート。東京時間は米国のリセッション入り警戒されてドル売り地合いとなり、ユーロドルは1.1388までじり高に。欧州入り後には前述のEU司法裁判所の法務官の意見が報道されるとドル売りが強まり、1.1419(高値)まで上伸。NY時間には米株価の大幅下落を受けてドル買い・円買いのリスクオフ地合いに。またこの日から英議会でEU離脱案に関する議論が始まったが、離脱交渉時の法的助言等を英政府が公表せずに英議会在紛糾しEU離脱案の議会通過に懸念が広がると英ポンド売りが加速。ユーロドルも連れ安となり1.1319(安値)まで下落した。その後1.1340-1.1345レベルで揉みあって引けた。

【12/5】ドル円は112.75-80レベルでオープン。前日NY市場での3%超の株価下落からのリスクオフ地合いを引き継ぎ、朝方は円買いに傾斜し112.65(安値)まで下押しした。しかし東京時間は5・10日のドル買い需要や、「中国当局者、米国産大豆とLNG輸入の再開に備えるよう指示を受ける」との報道で米中貿易摩擦懸念が和らぎ、寄り付きから大幅下落となった日経平均株価が下げ幅を縮小したことで、欧州入り際には113.10超えまで上伸した。欧州時間に入るとドル買いは一服し、ドル円は113.00を挟んで推移。NY時間は、ブッシュ元米大統領の追悼により米株式・債券市場は休場だったものの、トランプ米大統領の「中国は「とても強いシグナル」送信、貿易で行動を



期待」との融和的なツイートによりリスク許容度が拡大し円売り地合いとなり、ドル円は113.24(高値)まで上伸し、高値圏の113.20近辺で引けた。ユーロドルは1.13台半ばからスタート。東京時間は前述の通りドル買いが優勢となり1.1317まで下押しした。しかし欧州入り後はドル買いが一服、また独長期金利上昇も相俟ってNY時間には1.1361(高値)まで上昇。その後、ロンドンフィキシング(WMR)に向かう過程でドル買いが強まり1.1312(安値)まで瞬間的に急落する局面があったものの、引けにかけて1.13台半ばまで戻し、結局住って来いの相場となった。

【12/6】ドル円は113.21(高値)でオープン。早朝に、カナダ当局が中国のスマホメーカー華為技術(ファーウェイ・テクノロジー)のCF0を逮捕との報道を受け、米中通商協議への影響が懸念され、米S&P先物INDEXが1%以上急落。日経平均株価(前日比▲1.91%)を筆頭に上海株式(同▲1.68%)等、アジア株式市場にも株安の影響が波及し、為替市場ではリスクオフの円買いに傾斜。ドル円は112.58まで下落した。欧州時間早朝に「中国商務省報道官、90日以内に貿易合意に達することができる」と自信と伝わると、リスクオフムードの巻き戻しから為替市場ではクロス円が買われ、ドル円は一時113.16まで上昇。しかし欧州市場でも主要株価が大幅に下落し市場は再びリスクオフ地合いとなり、クロス円主導で円買いに転換し112.63まで下落した。NY時間には米11月ADP雇用統計(実績+179k / 予想+195k)が市場予想を下回った他、米11月貿易収支(実績▲555億ドル / 予想▲550億ドル)は10年ぶりの貿易赤字額を記録し、対中国の財の貿易赤字は過去最大となった。米指標発表直後の為替市場の反応は限定的だったものの、その後もリスクオフムードが続く中、米10年債利回りが今年8月以来の水準まで低下。また、NYダウ平均株価が▲3%超下落するとドル円は112.23(安値)を示現した。引けにかけてNYダウ平均株価が前日比▲0.32%まで下げ幅を縮小するとリスク許容度の改善から円売り地合いとなり、112.65-70レベルまで戻した。ユーロドルは東京時間から欧州時間序盤まで1.1322(安値)-1.1352のレンジで推移。しかしNY時間にかけてはドル売り地合いとなり1.13台後半まで上昇。更にNY入り後には米長期金利低下や米株価の大幅下落を受けて、為替市場はドル売りに傾斜し1.1412(高値)まで上伸。その後は米株価の下げ幅縮小に連れてドルが買い戻され、1.1375-80レベルまで緩んで引けた。

【12/7】先週金曜日のドル円は112.65-70レベルでオープン。注目されていたパウエル議長の公式発言は、「米労働市場は多くの指標で非常に強い」「雇用創出は強く、賃金は段階的に上昇」とタカ派的な内容。日経平均株価も底堅く推移したことで、ドル円112.93の高値まで上伸した。欧州時間は米雇用統計を控え様子見となり、112.80挟みで小動きに終始。NY時間に発表された11月米雇用統計では、米11月失業率(実績3.7%/市場予想3.7%)は市場予想通りとなったが、米11月非農業部門雇用者数(実績15.5万人/市場予想19.8万人)、米11月平均時給・前月比(実績0.2%/市場予想0.3%)は市場予想を下回る結果となった。発表直後のドル円は112.62-91レベルで上下したが、寄り付き後堅調に推移していた米株式が大幅下落に転じ、米10年債利回りも低下したことでリスクオフの円買いに傾斜。また、クドロー米NEC委員長が「FRBは12月利上げ後、かなり長い間利上げを休止すると予想」と発言したことも材料視され、ドル円は112.56の安値まで下落した。引けにかけてはブレイナードFRB理事が「漸進的な利上げは短期的に適切」、「利上げペースはより経済指標次第になるだろう」、ブラード・セントルイス連銀総裁が「イールドカーブのフラット化を背景にFRBは12月の利上げを1月に先送りする可能性がある」とタカ派ハト派入り混じる見解が示されたが、為替相場への影響は限定的となり、ドル円は112.57-77レベルで推移し112.74で引けた。ユーロドルは1.1370-80レベルでオープンしNY時間にかけて1.1361(安値)-85のレンジで動意なく推移した。NY時間は米雇用統計の結果を受け1.1366-1.1415レベルで上下した後、米株安、米10年債利回りの低下で全般的にドル売りとなる中、ユーロドルは1.1424の高値まで上昇。引け際には1.13割れまで売られ、1.1380で引けた。

## II. 今週の予想

通貨	今週予想		コメント
	安値	高値	
ドル/円	111.80	113.10	レンジ
ユーロ/円	126.60	129.10	ベア
ユーロ/ドル	1.1380	1.1500	ベア

### ◆今週の予想

今週のドル円予想レンジは111.80-113.10

112円台を中心としたレンジを大きく外れることは無いが、どちらかといえば下方向への圧力の方が強い一週間になると考えている。今週の最大イベントとして注目しているのは、Brexit関連での英議会でEU離脱合意案採決(予定では11日英下院採決となっているが、一部報道では延期を本日発表する可能性)と13~14日のEU首脳会議。現状、下院で合意案が否決されるとの見方が優勢となっている。来年3月末の離脱交渉期限の先延ばし余地も示されている他、13~14日のEU首脳会議では離脱条件につき再度協議が行われる見込みであり、議会の否決イコール合意なき離脱に直結する訳ではないものの、リスクオフ要因として警戒が必要だろう。Brexitに対する先行き不透明感はまだまだ残り、欧州通貨は全般的にダウンサイドへの警戒が続くと考えている。欧州通貨が売られる局面ではやはり円が買われやすく、クロス円下落材料として意識しておきたい。今週からFOMC前のブラックアウト期間に入るため、来年以降の利上げペース鈍化を警戒する足との流れが大きく変わることはないだろう。但し主要な米経済指標として11日生産者物価指数、12日消費者物価指数、14日小売売上高などには注目しておきたい。予想を上回る数字となってもドル買い圧力は限定的とみているが、弱い数字が続いた場合はレンジを切り下げる動きが出てくる可能性がある。しかしながら、ドル円下落につながりやすい材料はあるものの、引き続き100日移動平均線の位置する112円台前半がサポートとなるだろう。ヘッドライン次第では一時的に111円台をつける局面も出てくる可能性があるが、111円台では年末のドル買い・円売り需要も強く下値は限定的であり滞在時間も長くはないと考えている。



### Ⅲ. 経済指標カレンダー

日付	時間	国	月	経済指標、要人発言
12月10日	8:50	日	第3四半期 確報値	GDP(季調済/前期比)
	8:50	日	10月	国際収支:経常収支
	16:00	独	10月	貿易収支
	18:30	英	10月	貿易収支
	18:30	英	10月	鉱工業生産(前月比)
	18:30	英	10月	製造業生産(前月比)
12月11日	英下院、EU離脱合意案巡り採決			
	17:30	欧		ギントスECB副総裁、発言
	18:30	英	11月	失業率(社会保障受給)
	18:30	英	11月	失業保険申請件数推移
	18:30	英	10月	ILO失業率(3カ月)
	19:00	独	12月	ZEW調査(現状指数/期待指数)
12月12日	22:30	米	11月	生産者物価指数
	8:30	豪	12月	ウェストハック消費者信頼感(季調済/前月比)
	21:00	米		MBA住宅ローン申請指数
	22:30	米	11月	消費者物価指数(前月比)
	4:00	米	11月	月次財政収支
12月13日	欧州中央銀行(ECB)金融政策会合			
	EU首脳会議(ブリュッセル、14日まで)			
	16:00	独	11月 確報値	消費者物価指数(前年比)
	21:45	欧		ECB主要政策金利
	21:30	欧		ドラギECB総裁、発言
	22:30	米	11月	輸入物価指数(前月比)
12月14日	22:30	米		新規失業保険申請件数
	8:50	日		日銀短観
	11:00	中	11月	小売売上高(前年比)
	11:00	中	11月	鉱工業生産(前年比)
	13:30	日	10月 確報値	鉱工業生産(前年比)
	17:15	欧		ギントスECB副総裁、発言
	17:30	欧	12月 速報値	マークイット ユーロ圏コンポジット/サービス業PMI
	18:00			ノボトニーECB理事、発言
	22:30	米	11月	小売売上高速報(前月比)
	23:15	米	11月	鉱工業生産(前月比)
12月15日	23:45	米	12月 速報値	マークイット米国製造業PMI
	19:30	欧		ドラギECB総裁、発言

- ・この資料の無断での複写、転写、転載、改竄または配布は、禁止されています。
- ・この資料は、情報の提供を唯一の目的としたもので、特定の金融商品取引の投資勧誘・奨励を目的としたものではありません。
- ・金融商品取引を検討される場合には、別途当該金融商品の資料を良くお読みいただき、充分にご理解されたうえで、ご自身の判断と責任においてお取引をなさるようお願いいたします。
- ・金融商品によっては所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また金融商品によっては証拠金や担保をご提供いただく場合があります。なお、具体的な金融商品が定まっていないため、現時点では手数料・証拠金・担保等の額または計算方法およびその比率をお示しすることはできません。
- ・金融商品によっては、金利水準、為替相場、株式相場等の金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により、お客様に損失が生じることがあり、またこの損失がお客様からご提供いただいた証拠金・担保(もしあれば)の額を上回るおそれがあります。
- ・商号等/株式会社新生銀行 登録金融機関/関東財務局長(登金)第10号  
加入協会/日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会